



同窓会だより

歯学科6年生、口腔生命福祉学科 4年生と歯学部同窓会との交流会

副会長 野内 昭 宏

平成27年9月18日(金)夕方に「歯学科6年生、口腔生命福祉学科4年生と新潟大学歯学部同窓会との交流会」が開催されました。

まず歯学部講堂にて同窓会の説明会が行われました。多和田会長の挨拶にはじまり、内藤専務理事から同窓会の概要の説明、奥村会計理事から同窓会の入会案内、そして私野内からの歯学部卒業後についてのプレゼンテーションと続きました。

その後、場所を歯学部アメニティスペースに移し、懇親会が行われました。石澤副会長の乾杯の挨拶に始まり、1時間半ほどの歓談の時間は瞬く間に過ぎ去り、佐藤副会長の挨拶にて閉会となりました。

この交流会の目的は、同窓会の組織を知っていただくのはもちろんのこと、卒業後に困ったときには同窓会のつながりが解決の一助となりうることを記憶に留めておいてもらうことにあります。新潟大学歯学部は、歯学科、口腔生命福祉学科ともに卒業生の人数も増え、全国各地で活躍している同窓生が多くいます。今回の交流会が、卒業前で不安な時期である学生さんにとっての安心材料になれば幸いですし、今後、新潟大学歯学部同窓

会が若い力を得て、さらに盛り上がっていくよう願っています。



新潟大学歯学部同窓会セミナー・ CAD/CAM歯冠修復の現況と形成・ 接着のポイント～IDS2015最新情報 と天然歯ライブデモ～を受講して

歯学科39期生 小川 信



歯学科39期生、インプラント治療部の小川と申します。この同窓会セミナーは何度か受講させて頂いていますが、この度CAD/CAM歯冠修復の分野で非常に高名な風間龍之介先生がセミナーを行われるということで、とても楽しみにしておりました。やはり多方面でご講演なされているため、分かりやすくかつ内容が濃いセミナーであ





り、今後の臨床の大きなヒントになりました。特に天然歯ライブデモでは風間先生の臨床技術を直接拝見することができ、非常に貴重な体験でした。当病院では数年前よりCERECシステムが導入されてはいるものの、稼働状況はまだまだ少ない状態です。確かに深い知識と高い技術、そして豊富な臨床経験を必要とするため、一朝一夕では取り組みにくい治療ではありますが、今後確実に発展していく分野であると思います。私自身もできる限りCERECを実際の診療の場で活用していきたいように努力していくつもりですし、ぜひ他の先生方にも積極的に活用して頂きたいと思います。

おおよそ20年前、私が小学生の頃、電話をしたい時は公衆電話のある場所に行き、電話機にテレホンカードを入れて電話をするというのが普通でした。その頃は携帯電話というのはほとんど誰も所持していない希少物で、別になくても困るものではありませんでした。現在、公衆電話はほとんど見かけず、テレホンカードを所持している人もほとんどいません。ほぼ全ての人が携帯電話を所持しており、電話だけでなく、生活に関わる様々な事柄が携帯電話1本で事足りてしまうような時代となりました。それと同じように現在はなかなか想像し難いですが、近い将来、それこそ海外の一部の大学のよう、模型、咬合器そして印象材などが少しずつ消えていき、CAD/CAMによって全ての記録がデジタル化していくような時代が来るかもしれません。歯科医師も技工士もほとんどパソコンに向かいながら情報を共有し、仕事を行うような時代。そうなった場合CAD/CAMは避けて通れない分野であり、今後も勉強し続けなければいけないと日々感じております。

当同窓会セミナーは学術委員の先生方のご尽力、また講師の先生方のご配慮などもあってか、他のセミナー等より受講費も安く、気軽に受講できると思います。新潟大学の同窓の先生が多いため、アットホームで情報交換なども行いやすいので、今まで受講したことがない方はぜひ受講してみてください。

風間先生、アシスタントの先生方、そして学術委員の先生方、この度は貴重なセミナーを行って頂き本当にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

